

佐野高中高一貫教育校 2021 スクールガイド

2021 School Guide

開こう夢の扉
輝く未来へ向けて



▲ QRコードから
ホームページへアクセスすると
学校紹介の動画が
見られます!



栃木県立佐野高等学校附属中学校

本校の沿革

中高一貫教育校の母体校である県立佐野高等学校は、1901年(明治34年)に、「栃木県第四中学校」として開校し、来年度、120年目を迎える県内有数の伝統校です。その間、豊かな文化と良き伝統に生まれ、各界において指導的な役割を担う著名な人物を数多く輩出しています。

そして、平成20年4月より、佐野高等学校に附属中学校を併設する中高一貫教育校として、新しい歴史を刻みはじめました。また、平成28年度から令和2年度までの5年間、本県で唯一、文科省よりSGH(スーパーグローバルハイスクール)に指定され、「グローバルリーダー」の育成に取り組んできました。令和3年度から、SGH活動の成果を最大限に引き継ぎ、「探究力」「人間力」を育成する「Sanoグローバル構想」のもと、新たにスタートします。



校訓

自主独立 進取創造 和親敬愛



教育目標(育成する生徒像)

自他の生命と人権を尊重し、正義と平和を愛する心をもった、

「国際人として活躍できる真のリーダー」の育成

豊かな教養と進取の気性に
富み、真理を探究できる生徒

【探究】

高い品性と共生の心を備え、
進んで社会に貢献できる生徒

【貢献】

健やかな精神と身体を持ち、
自己の未来を拓ける生徒

【向上】

目指す教育の概要

国際人として活躍できる真のリーダー

様々な特色ある教育

- 文化・芸術活動を柱とした教養教育
- プレゼンテーション能力の育成
- 読書活動を中心に据えた表現力、思考力の育成
- 自己実現を目指したキャリア教育
- 自然科学の本質に触れる理数教育
- リーダーシップ・フォロアーシップの育成

基盤となる教育

確かな
学力

基礎・基本の確実な定着を図り、
個性や才能をさらに伸ばします

【個に応じたきめ細かな指導】【チームティーチングや少人数指導】

豊かな
人間性

豊かな体験活動等を通して、
心の教育を推進します

【文化芸術活動、社会体験や自然体験など】【読書活動】

授業の特徴

3学期制

45分授業

週35単位時間の授業

※標準授業時数の確保と特色ある教育を実施するために、1単位時間45分、週35単位時間の授業を行います。

中高の連携を図った生徒指導、教育相談体制の充実

栃木県立佐野高等学校・同附属中学校 Sano グローカル構想

SGHからSano グローカルへ

身に付ける資質・能力、
「探究力」と「人間力」
これらを支える12の力。



「田中正造型」
グローバルリーダーの育成

郷土が誇る偉人「田中正造」は、鉱毒被害というローカルな課題を徹底的に追究することを通して、「真の文明」というグローバルな思想にたどり着いた。本校は、田中正造から学び、ローカルな課題からリージョナルな課題に視野を広げ、グローバルな視点から課題を発見し、解決策を提言・行動できる「グローバルリーダー」の育成を目指している。

グローバル探究プログラム

グローバル(全地球)

高3

グローバル発展 ~キャリアパス探究~

- ・課題研究を論文にまとめる。国内外成果発表会
- ・私の学び計画書・シンカ宣言(英語)

高2

グローバル応用 ~異文化研究~

- ・台湾グローバル研修(フィールドワーク)
- ・世界の各国の課題を調査、研究

高1

グローバル基礎 ~地域課題研究~

- ・海外グローバル研修(カナダ)
- ・ローカル&リージョナルフィールドワーク

中3

グローバルアプローチⅢ ~世界の中の日本を知る・課題研究入門~

- ・国内研修(広島、京都、奈良)イングリッシュキャンプ

中2

グローバルアプローチⅡ ~地域を支える産業を知る~

- ・マイチャレンジ 職業人講話

中1

グローバルアプローチⅠ ~世界に誇れる郷土の偉人・田中正造を知る~

- ・足尾植林体験 郷土の偉人新聞作成

ローカル(地域)

基盤

授業のシンカ

キーワード: シンカ→深化・進化・真価・Thinker

クリティカル・シンキング・プログラム(CTP)

~批判的思考を身に付ける~
☆各教科で批判的思考を活用 中1から学習

SanoG.リレー講座

~各分野の第一人者による講義~
☆中1から段階的に実施

教科指導でSanoG.の資質・能力を育成

~グローバルな視点で課題研究~
☆全教科でアクティブラーニングを導入

授業評価

教科横断的・探究的な学びを多面的・総合的に評価するルーブリックの開発

SanoG.クラブ

- ☆国内外のフィールドワーク研究(研究班)
- ☆課題研究へのディベート導入(ディベート班)
- ☆フランス語学習および文化研究(フランス語班)

連携

これまでのSGH活動で連携した高校、大学、関係機関等

<高校~全国のSGH校、海外の連携校>

- ・福島県立ふたば未来学園高等学校(原発災害からの復興)等
→ディスカッション、ディベート、協働フィールドワーク
- ・高雄女子高級中学、セント・テレサ中等教育学校(マレーシア)
- ・クリスチャンユニティスクール(カナダ)

<大学>

- ・宇都宮大学、足利大学、白鷗大学 等(県内)
- ・東京海洋大学、東洋大学、帝京大学 等(県外)
→留学生とのグループワーク、大学教員とTT、特別講義等
- ・福島大学[うつくしまふくしま未来支援センター]
(原発災害からの復興) →協働フィールドワーク
- ・プリティッシュコロンビア大学(カナダ)
- ・UNIMUS(マレーシア国立サラワク大学)、国立暨南国際大学、国立政治大学 →研究発表、協働フィールドワーク等

<企業・自治体・関係機関等>

- ・吉澤石灰工業、吉川油脂、住友大阪セメント(バイオマス発電)、第一酒造、さのまちづくり株式会社等
- ・佐野市、茂木町、栃木県、佐野市国際交流協会、佐野商工会議所、JA佐野、JETRO栃木、JICA筑波センター、各国大使館、各種NPO等

総合的な学習の時間「グローバル探究プログラム」

文化芸術活動を柱とした教養教育

【茶道や華道などの体験を通じた日本の伝統文化の学習】



華道



茶道



箏



三味線・尺八

【様々な文化や芸術にふれる学習】



伝統文化教室(能楽)



歌舞伎鑑賞(国立劇場)



百人一首

自己実現を目指したキャリア教育

【勤労体験などの体験学習】



農業体験



足尾植樹体験



地域の伝統文化見学



マイチャレンジ

【教養講座(各分野の専門家による講話)】



職業人講話



環境教育講話



博物館職員による田中正造講話



大学教授とゼミ生による英語出前授業

教育活動を通し、主体的に考える人間(Thinker)として、自己の能力を「深化」させ、地域文化に根ざしながら世界での活躍を目指してを發揮できる人間になってほしいという願いを込めた名称です。

基礎教養としての計画的な読書活動

読書活動を中心に据えた表現力、思考力の育成

【朝の読書の時間の設定と図書館機能の充実】
 【3年間を通した読書ノート】／【中学段階での100冊読書】



朝の読書



各学級に設けられた学級文庫



シカ読書ノート

中高合同の図書館

学校設定教科

自然科学の本質にふれる理数教育 『数理探究I(中2)・II(中3)』

【日常に潜む数学や実物にふれる観察実験】



黄金比を探そう



「電気パン」から学ぶ電流のはたらき

【外部講師による専門性を生かした学習】



秋山川で野鳥観察



大学教授による特別講座

プレゼンテーション能力の育成 【CTPI(中1)・II(中2)・III(中3)】

CTPとは、Critical Thinking Programの略語です。



英語で考えを伝えます



パソコンも効果的に利用

リーダーシップ・ フォロアーシップの育成

【中高協力による学校行事】



中高合同入学式



マラソン・ウォーキング大会



中高合同の学校祭



中高合同旭城大運動会



先輩がリードする生徒総会



《先輩から後輩へ》マイチャレンジ発表会

1日の流れ

【生徒登校】 8:15	【読書】 8:20~8:30	【朝の会】 8:30~8:40	【1時限】 8:45~9:30	【2時限】 9:40~10:25	【3時限】 10:35~11:20	【4時限】 11:30~12:15
【昼食・昼休み】 12:15~12:55	【5時限】 13:00~13:45	【6時限】 13:55~14:40	【7時限】 14:50~15:35	【清掃】 15:40~15:55	【帰りの会】 16:00~16:10	【部活動等】 16:10~



通学は、徒歩、自転車、
電車とさまざまです



教室での授業



旭城ホールでの授業風景



高校の先生による特別講話



理科室での授業風景



自分の考えを伝えます



給食はありません



陸上競技



男子卓球



吹奏楽



ラグビー

部活動
高校部活動への早期参加が可能



女子バレーボール



特設駅伝部



野球



サッカー



囲碁将棋



野球



美術



男子バスケットボール



手芸



女子硬式
テニス

<特設活動>
選抜合唱
英語ディベート

サッカー
水泳
日本語ディベート

保と特色ある教育活動を実施するために、週35単位時間の授業を行っています。 ●数学や英語の授業では少人数授業やチーム・す教育を行います。

附属中1年生の1年間の流れ

1 学期

- 入学式
- 中高合同入学式
- ふれあい宿泊学習
- 教育相談週間
- 生徒総会
- 伝統文化教室(茶道・華道)
- 中間試験
- 旭城大運動会
- 校外体験学習
- 期末試験
- 三者懇談(夏季休業中)

2 学期

- 実力テスト
- 学校祭
- 合唱コンクール
- 教育相談週間
- 中間試験
- 漢典コンクール
- 英語出前授業
- 修学旅行
- マイチャレンジ
- マラソン・ウォーキング大会
- ボキャブラリコンテスト
- 期末試験

3 学期

- 卒業式
- イングリッシュキャンプ
- 学年末試験
- 教育相談週間
- 伝統文化大会
- 生徒会役員選挙

入学式



マラソン・ウォーキング大会



伝統文化大会



制服・体育着



合唱コンクール



中高合同旭城大運動会



球技大会

各学年の宿泊学習



1年ふれあい宿泊学習 (2泊3日)



2年スキー林間学校 (2泊3日)



3年修学旅行 (3泊4日)



3年イングリッシュキャンプ (2泊3日)

Q&A

Q1 通学方法などは学校から指定されるのですか？

A1 通学方法については、特に規定は設けていません。自転車通学については、距離や通学路の安全面などの状況が個々に違うため、保護者の判断に任せています。なお、交通安全指導を十分に行っています。

Q2 納入する諸費等には、どのようなものがありますか？

A2 公立の中学校と同様に、入学金、授業料、教科書の費用はかかりません。また、給食がないことから、給食費はかかりません。PTA会費、生徒会費、教材費等は必要となります。中学1年生では、11万円程度を4月から6回に分けて、毎月口座引き落としで集金しています。

Q3 佐野高校での「Sanoグローバル構想」とは何ですか。また、附属中学校ではどのような取り組みがありますか。

A3 佐野高校は、SGH（スーパーグローバルハイスクール）として、文部科学省から5年間（H28～R2）の指定を受け、グローバルリーダーの育成に努めてきました。今後も、その成果を引き継ぐこととし、生徒が本校で身に付ける資質や能力を新たに「探究力」と「人間力」と位置づけ、教育活動全体を「Sanoグローバル構想」といたしました。附属中では、今後も「Sanoグローバル構想」の一環として、日本の伝統文化、地域の歴史や文化について、自ら体験する活動や、数理探究、CTPなどの学校独自教科を設定し、実践していきます。

参考・・・[和 glocal] [グローバル (global) とローカル (local) からの造語]

国境を越えた地球規模の視野と、草の根の地域の視点で、さまざまな問題を捉えていこうとする考え方。

【入学者選考について】

※男女の割合は、そのいずれかが6割を超えないものとする。ただし、適正があるものを選定する際、男女のいずれかが4割に満たない場合は、この限りではない。

募集定員	男女あわせて105名※	募集要項の配布	令和2(2020)年10月1日(木)～
出願(郵送)	令和2(2020)年11月30日(月)～12月3日(木)(消印有効)		
適性検査、作文、面接の実施	令和3(2021)年1月9日(土)	入学者の決定・通知	令和3(2021)年1月14日(木)



栃木県立佐野高等学校附属中学校

〒327-0847 佐野市天神町761番地1

【TEL】0283-23-0161 【FAX】0283-21-1301 【URL】<http://www.tochigi-edu.ed.jp/sano/nc2/>